

【発表項目およびコメント】

**令和8年度「熊本県渋滞対策パートナー登録制度」
登録事業者を募集します**

くまもとスポットナース支援事業を始めます

熊本県庁の業務改革（BPR）を進めます

**沖縄県からの避難住民受入れ検討のため
多良間村・宮古島市を訪問します**

令和8年度「熊本県渋滞対策パートナー登録制度」 登録事業者を募集します

制度主旨

- ◆交通渋滞の解消を目的とした取組みを行う事業者等を登録
- ◆官民一体となった取組みの横展開を促し、交通渋滞の解消を目指す

※県内に事業所等を有する事業者が対象

募集期間

- ◆令和8年(2026年)4月22日(水)～令和8年(2026年)9月30日(水)

※新たに参画を希望する事業者を募集。令和7年度登録事業者(275社)は、改めての登録は不要。

申請方法

- ◆県ホームページの専用フォームから申請

※登録事業者は、県のホームページにて公表・周知します。

(公表事項:団体名・所在地(市区町村のみ)・業種・登録年度・パートナー宣言・取組内容)

※詳しくは、県ホームページを確認下さい。



令和8年度「熊本県渋滞対策パートナー登録制度」 登録事業者を募集します

登録対象 ◆交通渋滞の解消を目的とした主に以下の取組み

①交通量の分散に向けた取組み

- 時差出勤 等 ※交通量の分散は主に朝ピーク時間帯(7:30~8:30)を想定

②交通量の抑制に向けた取組み

- テレワークの推進、公共交通機関の利用促進、独自の通勤バス運行 等

③公共交通サービス提供の取組み

- 鉄道、バス、シェアサイクルなどの公共交通サービス提供 等

令和8年度「熊本県渋滞対策パートナー登録制度」 登録事業者を募集します

メリット

◆登録制度への登録のメリットは以下のとおり

1

新規

県の取組み評価

- ・企画コンペ等における
加点対象
- ・優良な取組み
について知事表彰[※]



※今年度は、R7年度登録事業者を対象に実施

2

登録制度の 名称・ロゴマークの 利用



熊本県
渋滞対策
パートナー
登録制度

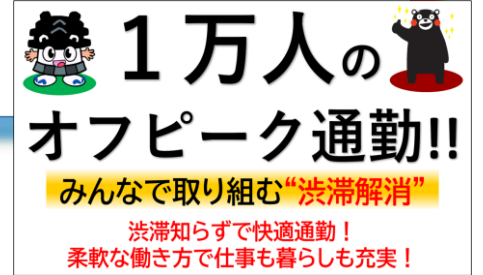
3

県HP等で 登録パートナーの 取組みを周知

4

地域課題の 解決に向けた 社会貢献活動をPR

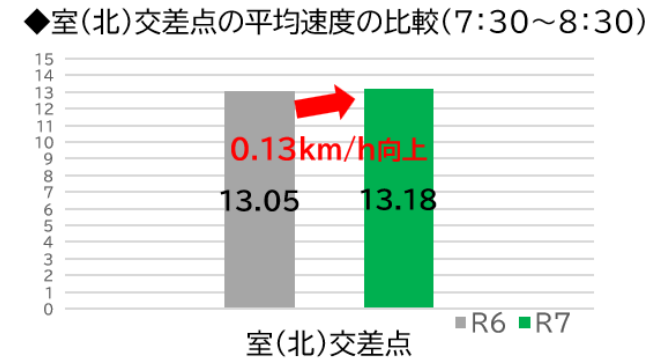
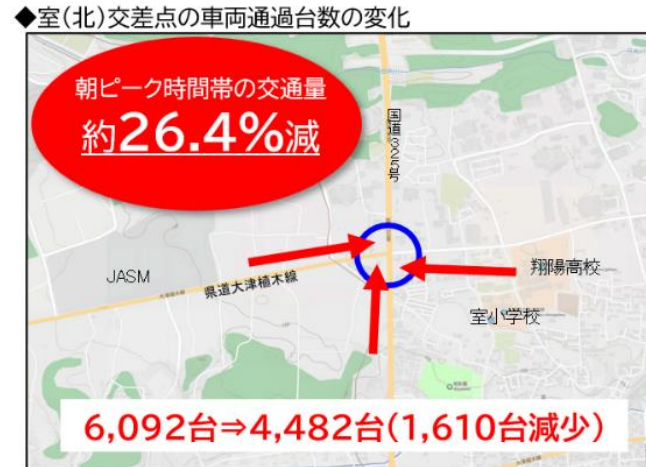
令和8年度「熊本県渋滞対策パートナー登録制度」 登録事業者を募集します



令和7年度の取組み

- ◆官民連携で1日あたり1万人規模のオフピーク通勤を実施
- ⇒10,687人が実施(県職員+熊本市職員+パートナー事業者)
- ⇒車両通過台数の減少や平均速度の向上を確認

【代表例】室(北)交差点 ※7:30~8:30の交通量の比較(R6年9月対R7年9月)、Hondaフローティングカーデータを用いた推計値

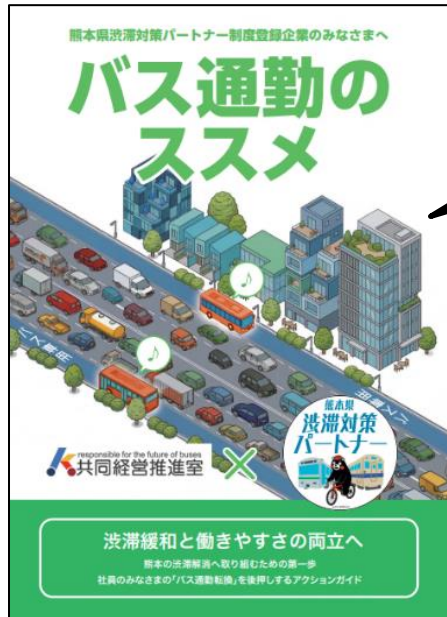


令和7年度 登録事業者275社。多くの企業、団体等の皆様の積極的な申請を!

令和8年度「熊本県渋滞対策パートナー登録制度」 登録事業者を募集します

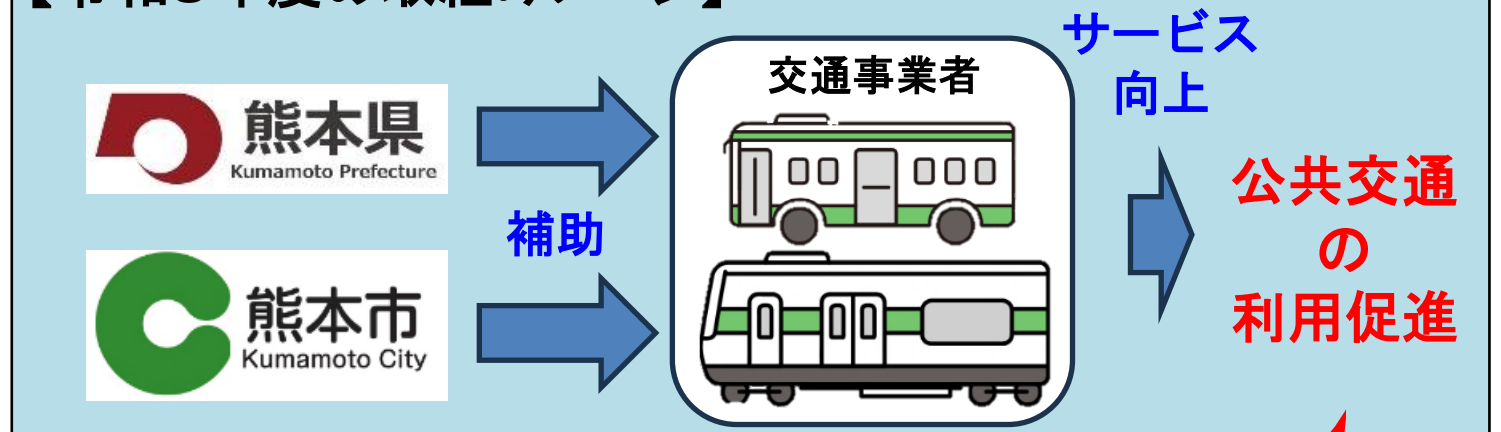
公共交通の利用促進

【令和7年度の取組み】



バス事業者と連携
パートナー登録事業者
に配布
(利用促進)

【令和8年度の取組みイメージ】



自動車から
公共交通への“転換”

交通渋滞の解消だけでなく燃料不足・燃料高騰対策につながる取組み

公共交通の積極的な利用を！

くまもとスポットナース支援事業を始めます！

- ▶ 高齢化等により医療ニーズが増える中、看護職員が不足
- ▶ 子育てや介護等で短時間勤務を希望する方や、退職後に無理のない働き方を続け社会に貢献したい方などがいる

➡ **ライフステージに応じて職場や働き方を選びながら、
看護の仕事続けることを応援する新たな取組みを始めます！**

事業目的

- 短時間勤務を希望する看護職員が活躍できる場を広げ、柔軟な働き方を支援するとともに、潜在看護職員の掘り起こしにつなげる。
- 医療機関等の多様なニーズに対応し、職員の働きやすい環境づくり及び人材不足の解消を図る。

くまもとスポットナース支援事業を始めます！



医療機関等の臨時（1日単位、時間単位）の 就業ニーズに応じ、看護職員を紹介

① ナースセンター専用ページから登録

※手数料無料

熊本県看護協会（ナースセンター）
ホームページ



② ナースセンターから求人情報を提供

③ 希望に合う医療機関の求人に応募

採用決定

くまもとスポットナース支援事業

事業開始 令和8年5月1日

(全国では愛知県に続き2例目)

＜スケジュール＞

令和8年度 熊本市内でモデル事業実施

令和9年度以降 県内各地へ拡大予定

看護職員の柔軟な働き方と医療機関の人材確保を支援

熊本県庁の業務改革（BPR）を進めます

～ 仕事を変える くまもとが変わる ～

背景 /課題

- 半導体企業の集積や災害等による行政ニーズの多様化
- 人口減少・少子高齢化による将来的な人材不足
- 「現場主義」の徹底のための環境整備

取組 方針

体制

- ・ 「業務改革推進室」新設
- ・ 3年間の「BPR集中取組期間」を設定（R8～R10）

改革 の柱

- ① 外部人材の活用による本格的BPRの実施
- ② 全職員をデジタル人材として育成

取組の目的

「付加価値の高い」仕事の実現により、成果を県民サービスの向上につなげ、県民へ「お返し」

3年間の主な取組み

1. 課題の多い所属を対象とした集中的なBPRの実施

- 職員アンケートやヒアリング等により、BPRの必要性が高い所属を選定し、集中的に業務改革を推進
- 業務改革推進室が、専門人材を活用し、現状分析から業務プロセス再構築に至るまで伴走支援を実施

2. AIの業務への徹底的活用

- AI活用を前提とした意識の徹底（AIでできることはAIで）
- AIを業務でフル活用するための環境の整備（セキュリティ強化）

3. デジタル人材育成基本方針(R8.3策定)を踏まえた取組

- 全職員がAIをはじめとするデジタルツールを活用して業務効率化を推進することができる「デジタル人材」として成長するための研修等の実施
- 全職員の2割を目標に、高い改革マインドとデジタルスキルを有する「デジタルマスター」を育成。将来的には、各所属が自律的・継続的に業務改革を推進できる組織を目指す

幹部職員を対象としたBPR（業務改革） 研修会の開催について

内容

- 日程：5月13日（水）15:00～16:30
- 会場：防災センター201会議室
- 対象：知事、副知事、各部局長、各広域本部・振興局長等
- 概要：徹底的なBPR推進のため幹部職員として必要な姿勢や求められる役割についての説明

多良間村・宮古島市を訪問します

目的

沖縄県からの避難住民の国の広域避難計画による受入れ検討にあたり、住民避難のあり方等について、多良間村長・宮古島市長と意見交換を行うもの。

訪問日時

4月24日（金）

10:50～ 多良間村役場

16:50～ 宮古島市役所



多良間村・宮古島市を訪問します

九州・山口各県では、受入れ想定に基づき、「輸送手段や収容施設の確保」、「就学・就労支援」等、令和6年度から様々な分野での検討を進めている。

※参考1 避難元市町村と避難先県の設定

避難元市町村（経由空港）	人口	避難先県
石垣市（福岡空港）	50,100人	山口県
		福岡県
		大分県
竹富町（福岡空港）	4,200人	長崎県
与那国町（福岡空港）	1,700人	佐賀県
宮古島市（鹿児島空港）	55,700人	福岡県
		熊本県
		宮崎県
		鹿児島県
多良間村（鹿児島空港）	1,100人	熊本県
計	112,800人	-

※参考2 県内の受入れ市町と受入れ人数

避難元市町村		受入れ市町	
市町村名	人口	市町村名	受入人数
宮古島市	11,700人	熊本市	9,300人
		阿蘇市	1,300人
		大津町	1,000人
		山鹿市	100人
多良間村	1,100人	八代市	1,100人
合計	12,800人	合計	12,800人

多良間村・宮古島市を訪問します

対応予定者等

4月24日（金）

◆10:50～ 多良間村役場
（木村知事、八代市小野市長ほか）

◆16:50～ 宮古島市役所
（木村知事、熊本市岡田副市長、阿蘇市沖副市長、
山鹿市阿蘇品副市長、大津町大隈総務部長ほか）